



サケの稚魚を放流する子どもたち

「頑張って帰ってきて」

石田小 児童がサケの稚魚放流

黒部

黒部市石田小学校の4年生33人がきのう、黒部川にサケの稚魚約2万匹を放流したぞ。「頑張って帰ってきてね」と成長を願っていたよ。

漁でサケの数が減りすぎないよう黒部川内水面漁業協同組合が毎年、卵から育てて放

流しているんだ。ことしの小学生による放流は黒部支部が担当して、宮井俊親支部長(71)らが見守ってくれたよ。

栃林信幸係長(39)にサケの一生について教えてもらった後、子どもたちが稚魚を川に放したぞ。約1・3キロの稚魚は、4年後、3〜4キロにまで



大きくなって帰ってくるんだって。中島

「ブンを探せ！」

「花さん(10)

は「稚魚が思ったより小さくてびっくりした。頑張って帰ってきてほしい」と話していたよ。

子どもたちも4年後には、中学生。いろいろあるけど、サケもみんなも頑張れ!